

# 全国保健所長会 だより

## 第75回 日本公衆衛生学会 総会のご案内

大阪府四條畷保健所長 宮園 将哉

### 今年の総会は大阪で開催

第75回日本公衆衛生学会総会が平成28年10月26日(水)から28日(金)までグランフロント大阪(大阪市)を主会場として開催されます。今回の総会開催地である大阪府内には43の市町村に約880万人が住んでおり、その中心都市である大阪市は、約270万人が住む西日本を代表する大都市です。

総会の主会場であるグランフロント大阪がある大阪市の北の玄関口「キタ」は、梅田を中心にファッション、アミューズメント、アートなど、最先端のトレンドを発信し続ける躍動的な街。一方、難波・心斎橋を中心とした繁華街「ミナミ」は、かに道楽やグリコなど

の派手な看板で知られる道頓堀、高級ブランドショップが並び、若者文化の発信地・アメリカ村がある心斎橋など、多様な魅力に満ちたエネルギーな街です。

また、大阪のビジネスの中心となっている「中之島エリア」や、大阪城や難波宮跡など古くから行政の中心となってきた「大阪城エリア」には、大阪の歴史・文化・芸術を十分に感じることができ、施設が多く存在します。さらに、通天閣やジャンジャン横丁などを加え、日本一の高さを誇る超高層ビル・あべのハルカスがある「天王寺・新世界エリア」、USJや海遊館など、大阪の下町パワーが炸裂するさまざまな楽しいエリアがありますので、ぜひこの機会に足を運びいただければと思います。

### 食の街大阪の「食いだおれ」

大阪はかつて「天下の台所」と呼ばれた街で、いまもその名にふさわしい「食いだおれ」の街として有名です。立ち飲みスタイルの串カツ、「コナモン」とも呼ばれるお好み焼きやたこ焼き、焼きそばなどは、庶民のための安価でおいしい大衆料理。また、ちよつと奮発して「割烹」と呼ばれる料理店へ行けば、堅苦しくない雰囲気や懐石料理を楽しむことができます。飲食店やお食事処が豊富でおいしい大阪はバラエティ豊かな食事を楽しめるため、「破産するまで飲み食いしてしまおう」という意味の「食いだおれ」という言葉がここで生まれてきたことにきつと納得できることと

### 日本の西洋医学教育発祥の地・ 地域保健活動発祥の地

思います。

ところで、大阪は西洋医学教育発祥の地の一つである適塾があった場所でもあります。適塾は、蘭医学研究の第一人者とされる蘭方医緒方洪庵(1810~1863)が1838年に開いた塾で、ここでは西洋医学の研究をはじめとして、種痘事業やコレラ治療など、大きな医学史上の業績が生まれました。また、適塾は幕末から明治維新にかけて、近代日本の国家形成に関与する幾多の人物を輩出しており、門下生の数は史料から判明する範囲でも1000名を超えるものと推定されています。さらに、大阪は1935年に当時大阪

市保健部長であった藤原九十郎(1894~1978)によってわが国初の保健所が設置されるとともに、1942年には地方自治体としては初めての保健婦養成所が設置されて、現代の公衆衛生行政や地域保健活動の基礎が築かれた場所でもあります。

### テーマは、「次世代の健康社会 実現のための公衆衛生人材育成」

大阪府での日本公衆衛生学会総会の開催は第55回総会以来20年ぶりの開催となり、学会長である大阪大学公衆衛生学教室の磯博康教授を中心に、関係機関・関係団体からなる実行委員会や学術部会において、着々と準備が進められて

おります。今回の総会のメインテーマは「次世代の健康社会実現のための公衆衛生人材育成」。テーマの背景について、学会長のごあいさつから紹介させていただきます。「少子超高齢化が進むわが国にとって、子供から高齢者までのすべての世代における健康増進、疾病や健康障害の予防、医療、福祉の改革と充実が求められています。具体的には生活習慣病やがんの対策、感染症対策、母子保健、学校保健、産業保健、食品衛生、環境衛生、医療、介護予防、福祉、災害対策等様々な分野の課題があり、特にそれらに係る人材の育成と確保は大きな課題です。そのため、本学会総会では、人材育成に

講演やシンポジウムのほか、健康危機管理をはじめ各分野における最近のトピックスなど、公衆衛生に関する多様なテーマを取り上げる内容になっております。さらに、昼間のセッションだけではなく、夕方には自由集會も併せて開催されます。多職種が参加する本学会の特徴を生かした活発な議論が展開され、新たなネットワークが広がることと思えますので、興味のあるテーマの自由集會にもぜひご参加ください。そのほか、総会に関する情報は総会ホームページ(<http://www.c-linkage.co.jp/jsh75/>)をご覧ください。

### 全国保健所長会総会について

総会開催前日の25日(火)には、第73回全国保健所長会総会を大阪・心斎橋のホテル日航大阪で開催します。

平成23年3月に発生した東日本大震災から今年で5年が経過しましたが、公衆衛生対策についてもその経験を踏まえて、全国衛生部長会災害時保健医療活動標準化検討委員会や各研究班などで災害時

関して議論を深めたいと考えております。」とあります。

原稿執筆時点においてプログラムは未定の部分が多いのですが、メインテーマのキーワードでもある人材育成に関連する

健康危機管理支援チーム「DHEAT」導入に向けた検討が進められるとともに、今年度からは全国8ブロックでDHEAT研修が始まっています。また、今年4月には熊本地震が発生したこともあり、再び大規模災害発生後の公衆衛生対策の重要性に注目が集まる中で、広域支援体制はもちろん被災地域の受援体制や各地域における日ごろからの災害対策の充実強化についてもさまざまな課題が浮き彫りとなっています。今回の総会では、一般の熊本地震における公衆衛生対策について、現地の関係者をはじめ国や各方面の関係者による検証をおさらいする形で、DHEAT機能についての検証を試みる企画が検討されています。近年、保健所に期待される役割が時代に合わせて目まぐるしく変化している中で、全国の保健所長が一堂に会して議論できる貴重な場となりますので、ぜひ多数の保健所長のご参加をお待ちしております。

